

## オリックス・バファローズがカラーQRコード採用 日本球団で初

2012.11.21 19:39

プロ野球チーム「オリックス・バファローズ」のモバイルサイトにアクセスする2次元バーコード「QRコード」が、バファローズのマスコットキャラクターやロゴがカラーで描かれたものになった。バファローズを運営するオリックスが採用したもので、スマートフォン（高性能携帯電話）などで利用できる。

オリックスによると、カラーQRコードの採用は日本の球団で初の試み。同社は、近年、オリックスはモバイルコンテンツの充実に力を入れており、コンテンツの“入り口”であるQRコードのエンターテインメント性やセキュリティー効果を上げる狙いがある。

カラーQRコードは、ITベンチャー企業「マイクロインテックス」（徳島県小松島市、齊藤孝弘社長）が開発し、今月2日から球団のホームページやポスターなどで公開されている。

QRコードのカラー化には、コードのセキュリティー効果を上げる狙いもある。このところ、QRコードを悪用して不正サイトにアクセスさせる「フィッシング詐欺」が続出し、コードの信用性向上が求められている。

従来の白黒模様では、見た目に分からない変化を施すことができるため、フィッシング詐欺に狙われやすい。しかし、カラー化した企業キャラクターを入れ込んだQRコードの場合は改（かい）竄（ざん）しにいうえ、「幅広い色や図柄の表現が可能になって、どのサイトにつながるのか一目で分かる安心感につながる」（齊藤社長）。

オリックスは昨年5月から、モバイルコンテンツ向けに、オリックス・バファローズの選手の座談会やヒーローインタビュー、ロッカールームの光景などを配信する動画サービスを始めた。コンテンツ内容の強化に伴い、「ファンが楽しくアクセスできるよう、QRコードに工夫を取り入れることが必要不可欠」（同社関係者）になっていたという。